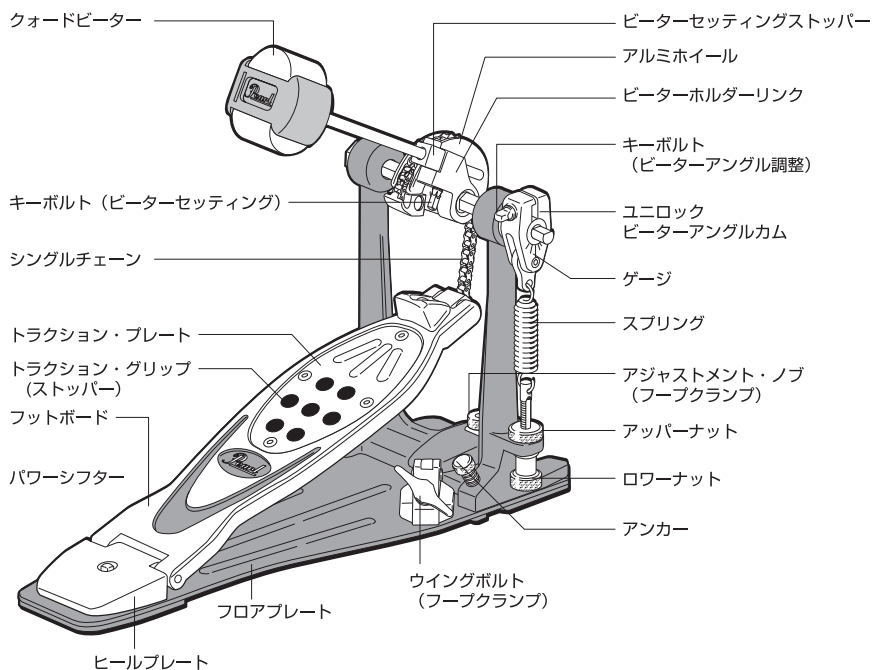


PEARL DRUM PEDAL

P-150P

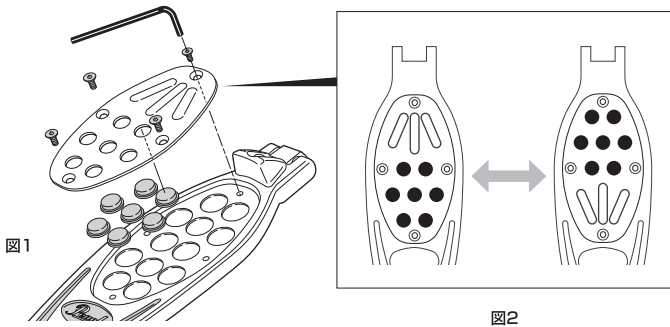
取扱説明書

この度は、P-150Pドラムペダルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品の機能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書をぜひご覧下さい。



トラクション・プレートとトラクション・グリップ(ストッパー)の設定

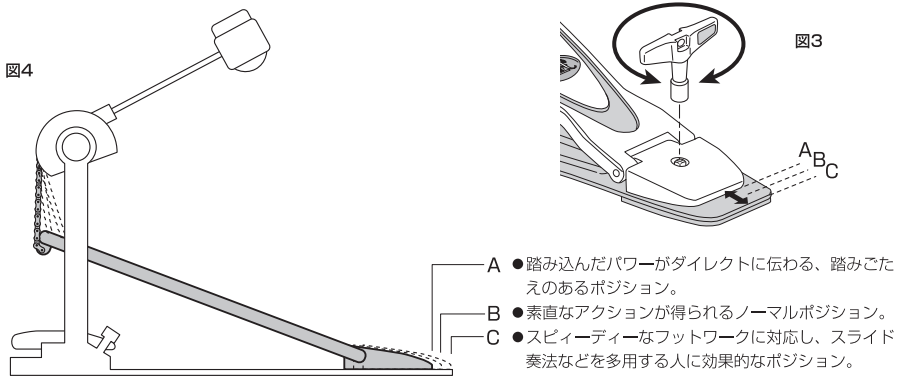
フットボードに埋め込まれたトラクション・プレートのストッパー(トラクション・グリップ)は、個別にとりはずすことができるシステムのため、好みのパターンに変えて、フットボード表面の滑り具合の微調整をすることが可能です。ストッパー(トラクション・グリップ)をはずす際は、付属の六角レンチでトラクション・プレートをはずしてから行って下さい。(図1)
またフットボードのパターンを上下逆にする場合には、トラクション・プレートをはずし、方向を変えて再び固定して下さい。(図2)



<注意!> トラクション・プレートを取りはずした状態のままでは絶対に使用しないで下さい。ケガをする恐れがあります。

パワーシフターの設定

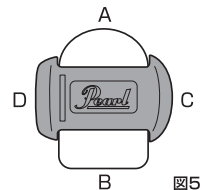
ヒールプレートのキーボルトをゆるめ、フットボードを前後にスライドさせることにより、3つの異なるアクションを設定することができます。A、B、Cのいずれかの位置を選び、キーボルトで固定します。(図3、4)



<注意!> フットボードのヒールプレートは、必ずフロアプレートに固定して下さい。破損する場合があります。

コードビーター

スタンダードなフェルト(A、B)とハードな樹脂(C、D)の2タイプの素材を使用し、それぞれ異なる形状をもたせた4ウェイビーター。
AとCは点でヘッドをヒットし、BとDはラインでヒットします。(図5)



ピーターのセッティング

ピーターシャフトをピーターホルダーリンクに差し込み、好みのポジションが決まったらキーボルトで固定します。またシャフトのズレや回転を防ぐため、ピーターシャフトに装着されたストッパーをピーターホルダーリンクの溝にはめ込み、付属の六角レンチで固定します。このストッパーは、セッティングをメモリーする際にも効果的です。（図6、7）

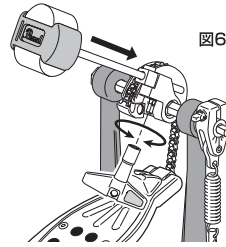


図6

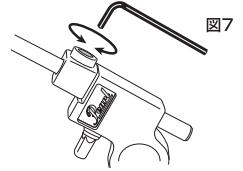


図7

ピーターアングルの調整

ユニロック・ピーターアングルカムのカムキーボルトをゆるめると、スプリングのテンションを変えずにピーターのアングルを無段階に調整することができます。アングルが決まったらカムキーボルトで固定して下さい。

また、ユニロック・ピーターアングルカムには、新たにメモリーゲージが刻みこまれているため、セッティングの際に便利です。（図8）

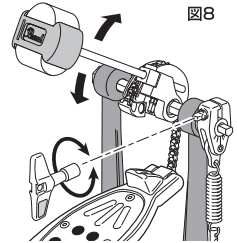


図8

スプリングテンションの調整

スプリングのテンションを強くしたい場合には、アッパーナットをゆるめてからローナットを締めます。弱くしたい場合には、それとは逆の手順で行います。このシステムは、調整後のゆるみを防ぐためのダブルナット方式ですので、双方のナットを十分に締めてお使い下さい。（図8）



図8

アッパーナット

ローナット

トゥ・ストッパー

つま先のズレを防ぐストッパー。不要の際は、キーボルトをゆるめ、取り去って下さい。

（図9）

トゥ・ストッパー

図9



アンカーボルト

ペダル本体の動きを防ぐためのストッパー。床面にキズをつける恐れがありますので、状況に応じてお使い下さい。（図10）

アンカーボルト

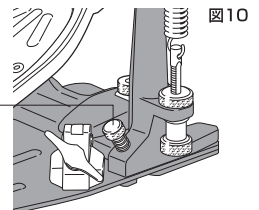
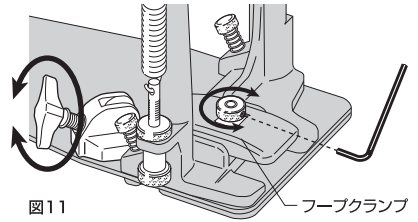


図10

フープクランプ・システム

クランプの支点の高さが調整できる新設計のフープクランプ・システム。バスドラムのフープをはさみ、ウィングボルトを締めてペダルを固定します。フープの厚さが合わない場合やペダルが浮き上がってしまう場合は、付属の六角レンチでアレンスクリュー（ホーローネジ）をゆるめ、アジャストノブをまわして調整して下さい。調整が終わったら、再びアレンスクリューを締めて固定して下さい。（図11）



<注意！> アレンスクリュー（ホーローネジ）がゆるんだ場合には、付属の六角レンチで締め直して下さい。また、可動部分には時折注油（グリス等）して下さい。

Pearl[®]
The best reason to play drums.

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますのでご了承下さい。